

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 人間の尊厳と自立		授業の種類 (講義) ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 橘 英美子	
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 5時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>「人間」の理解を基礎として、人間の尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面における倫理的課題について対応できるための基礎となる能力を養う学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>人間の尊厳と自立</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>尊厳の保持、自立・自律の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等、介護の基本的な理念を理解している。</p>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>人間の尊厳と自立</p> <p>1 レポート 人間の多面的な理解と尊厳①</p> <p>2 レポート 人間の多面的な理解と尊厳②</p> <p>3 レポート 自立・自律の支援①</p> <p>4 レポート 自立・自律の支援②</p> <p>5 レポート 人権と尊厳</p>					
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第1巻			[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格		

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 社会の理解 I		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 櫻井 邦夫	
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 5時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>介護に関する近年の社会保障制度の大きな変化である介護保険制度と障害者自立支援法について、介護実践に必要な観点から基礎的知識を習得する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>介護保険制度</p> <p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。</p>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>介護保険制度の導入の背景</p> <p>1 レポート 介護保険制度創設の背景</p> <p>2 レポート 介護保険制度の基礎的理解①</p> <p>3 レポート 介護保険制度の基礎的理解②</p> <p>4 レポート 介護保険制度の基礎的理解③</p> <p>5 レポート 介護保険制度における専門職の役割</p>					
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第1巻			[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格		

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 社会の理解Ⅱ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 櫻井 邦夫
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 30時間	配当学年・時期		必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個人が自立した生活を営むということを理解するため、個人、家族、近隣、地域、社会の単位で人間を捉える視点を養い、人間の生活と社会の関わりや、自助から公助に至る過程について理解するための学習とする。 ○ わが国の社会保障制度の基本的な考え方、歴史と変遷、しくみについて理解する学習とする。 ○ 介護実践に必要とされる観点から、個人情報保護や成年後見制度などの基礎的知識を習得する学習とする。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①生活と福祉②社会保障制度③障害者自立支援法④介護実践に関連する諸制度</p> <p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。 ○ 社会保障制度の発達、体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。 ○ 成年後見制度、生活保護者制度、保健医療サービス等、介護に関連する制度の概要を理解している。 				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>社会のしくみと理解</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 レポート 生活と福祉① 2 レポート 生活と福祉② 3 レポート 生活と福祉③ 4 レポート 生活と福祉④ 5 レポート 生活と福祉⑤ 6 レポート 社会保障制度① 7 レポート 社会保障制度② 8 レポート 社会保障制度③ 9 レポート 社会保障制度④ 				

- 10 レポート 社会保障制度⑤
- 11 レポート 社会保障制度⑥
- 12 レポート 社会保障制度⑦
- 13 レポート 社会保障制度⑧
- 14 レポート 社会保障制度⑨
- 15 レポート 社会保障制度⑩
- 16 レポート 障害者自立支援制度①
- 17 レポート 障害者自立支援制度②
- 18 レポート 障害者自立支援制度③
- 19 レポート 障害者自立支援制度④
- 20 レポート 障害者自立支援制度⑤
- 21 レポート 障害者自立支援制度⑥
- 22 レポート 障害者自立支援制度⑦
- 23 レポート 障害者自立支援制度⑧
- 24 レポート 障害者自立支援制度⑨
- 25 レポート 障害者自立支援制度⑩
- 26 レポート 介護実践にかかわる諸制度①
- 27 レポート 介護実践にかかわる諸制度②
- 28 レポート 介護実践にかかわる諸制度③
- 29 レポート 介護実践にかかわる諸制度④
- 30 レポート 介護実践にかかわる諸制度⑤

[使用テキスト・参考文献]

介護職員等実務者研修テキスト第1巻

[単位認定の方法及び基準]

(試験やレポートの評価基準など)

レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 介護の基本 I		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 大谷 和子	
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 10時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに、介護を必要とする人を、生活の観点から捉えるための学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①介護福祉士制度②尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開③介護福祉士の倫理</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>○ 介護福祉士制度の沿革、法的な定義・業務範囲・義務等を理解している。</p> <p>○ 個別ケア、ICF(国際生活機能分類)、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。</p> <p>○ 介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。</p>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>介護福祉士と介護の考え方</p> <p>1 レポート 介護福祉士の制度①</p> <p>2 レポート 介護福祉士の制度②</p> <p>3 レポート 介護福祉士の制度③</p> <p>4 レポート 尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開①</p> <p>5 レポート 尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開②</p> <p>6 レポート 尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開③</p> <p>7 レポート 尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開④</p> <p>8 レポート 介護福祉士の倫理①</p> <p>9 レポート 介護福祉士の倫理②</p> <p>10 レポート 介護福祉士の倫理③</p>					

<p>[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第2巻</p>	<p>[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格</p>
--	--

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 介護の基本Ⅱ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 大谷 和子
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期		必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい] 介護における安全やチームケア等について理解するための学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要] ① 介護を必要とする人の生活の理解と支援 ② 介護実践における連携 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護福祉士の安全</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)] ○ 介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。 ○ チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を修得している。 ○ リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を修得している。 ○ 介護福祉士の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を修得している。</p>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 介護福祉士による介護実践</p> <p>1 レポート 介護を必要とする人の生活の理解と支援① 2 レポート 介護を必要とする人の生活の理解と支援② 3 レポート 介護を必要とする人の生活の理解と支援③ 4 レポート 介護を必要とする人の生活の理解と支援④ 5 レポート 介護を必要とする人の生活の理解と支援⑤ 6 レポート 介護実践における連携① 7 レポート 介護実践における連携② 8 レポート 介護実践における連携③ 9 レポート 介護実践における連携④ 10 レポート 介護実践における連携⑤ 11 レポート 介護における安全の確保とリスクマネジメント①</p>				

- 1 2 レポート 介護における安全の確保とリスクマネジメント②
- 1 3 レポート 介護における安全の確保とリスクマネジメント③
- 1 4 レポート 介護における安全の確保とリスクマネジメント④
- 1 5 レポート 介護における安全の確保とリスクマネジメント⑤
- 1 6 レポート 介護福祉士の安全①
- 1 7 レポート 介護福祉士の安全②
- 1 8 レポート 介護福祉士の安全③
- 1 9 レポート 介護福祉士の安全④
- 2 0 レポート 介護福祉士の安全⑤

[使用テキスト・参考文献]

介護職員等実務者研修テキスト第2巻

[単位認定の方法及び基準]

(試験やレポートの評価基準など)

レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) コミュニケーション技術		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 金野 主税
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>介護を必要とする者の理解や援助関係、援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者や利用者の家族、あるいは他職種協働におけるコミュニケーション能力を身につけるための学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①介護におけるコミュニケーション技術②介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション③介護におけるチームのコミュニケーション</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者・家族とのコミュニケーション・相談援助の技術を修得している。 ○ 援助関係を構築し、ニーズや意欲を引き出すことができる。 ○ 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を活用できる。 ○ 状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化できる。 				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>コミュニケーションの技法</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 レポート 介護におけるコミュニケーション技術① 2 レポート 介護におけるコミュニケーション技術② 3 レポート 介護におけるコミュニケーション技術③ 4 レポート 介護におけるコミュニケーション技術④ 5 レポート 介護におけるコミュニケーション技術⑤ 6 レポート 介護におけるコミュニケーション技術⑥ 7 レポート 介護におけるコミュニケーション技術⑦ 8 レポート 介護におけるコミュニケーション技術⑧ 9 レポート 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション① 10 レポート 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション② 11 レポート 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション③ 12 レポート 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション④ 13 レポート 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション⑤ 				

1 4 レポート 介護におけるチームのコミュニケーション① 1 5 レポート 介護におけるチームのコミュニケーション② 1 6 レポート 介護におけるチームのコミュニケーション③ 1 7 レポート 介護におけるチームのコミュニケーション④ 1 8 レポート 介護におけるチームのコミュニケーション⑤ 1 9 レポート 介護におけるチームのコミュニケーション⑥ 2 0 レポート 介護におけるチームのコミュニケーション⑦	
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第2巻	[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 生活支援技術 I		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 武田 啓子
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期		必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①生活支援とICF②ボディメカニクスの活用③介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等） ④環境整備、福祉用具活用等の視点</p> <p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>○生活支援におけるICFの意義と枠組みを理解している。 ○ボディメカニクスを活用した介護の原則を理解し、実施できる。 ○介護技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を修得している。 ○居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の環境を整備する支店・留意点を理解している。</p>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>自立に向けた介護の方法</p> <p>1 レポート 生活支援とICF① 2 レポート 生活支援とICF② 3 レポート 居住環境の整備と福祉用具の活用① 4 レポート 居住環境の整備と福祉用具の活用② 5 レポート 移動・移乗の介護技術の基本① 6 レポート 移動・移乗の介護技術の基本② 7 レポート 移動・移乗の介護技術の基本③ 8 レポート 移動・移乗の介護技術の基本④ 9 レポート 食事の介護技術の基本① 10 レポート 食事の介護技術の基本② 11 レポート 入浴・清潔保持の介護技術の基本① 12 レポート 入浴・清潔保持の介護技術の基本②</p>				

1 3 レポート 排泄の介護技術の基本① 1 4 レポート 排泄の介護技術の基本② 1 5 レポート 着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本① 1 6 レポート 着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本② 1 7 レポート 着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本③ 1 8 レポート 着脱、整容、口腔清潔の介護技術の基本④ 1 9 レポート 家事援助の基本① 2 0 レポート 家事援助の基本②	
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第2巻	[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 生活支援技術Ⅱ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 西村 洋子	
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 30時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] 尊厳の保持の観点から、どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。					
[授業全体の内容の概要] 利用者の心身の状況に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動・移乗 ・ 食事 ・ 入浴・清潔保持 ・ 排泄 ・ 着脱、整容、口腔清潔 ・ 睡眠 終末期の介護					
[授業修了時の達成課題 (到達目標)] ○ 以下について、利用者の心身の状態に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備を行う事が出来る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動・移乗 ・ 食事 ・ 入浴・清潔保持 ・ 排泄 ・ 着脱、整容、口腔清潔 ・ 睡眠 ・ 終末期の介護 					

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

コマ数

利用者の心身の状況に応じた介護

- 1 レポート 移動・移乗の介護①
- 2 レポート 移動・移乗の介護②
- 3 レポート 移動・移乗の介護③
- 4 レポート 移動・移乗の介護④
- 5 レポート 移動・移乗の介護⑤
- 6 レポート 食事の介護①
- 7 レポート 食事の介護②
- 8 レポート 食事の介護③
- 9 レポート 入浴・清潔保持の介護①
- 10 レポート 入浴・清潔保持の介護②
- 11 レポート 排泄の介護①
- 12 レポート 排泄の介護②
- 13 レポート 排泄の介護③
- 14 レポート 排泄の介護④
- 15 レポート 排泄の介護⑤
- 16 レポート 着脱・整容・口腔清潔の介護①
- 17 レポート 着脱・整容・口腔清潔の介護②
- 18 レポート 着脱・整容・口腔清潔の介護③
- 19 レポート 着脱・整容・口腔清潔の介護④
- 20 レポート 着脱・整容・口腔清潔の介護⑤
- 21 レポート 睡眠の介護①
- 22 レポート 睡眠の介護②
- 23 レポート 睡眠の介護③
- 24 レポート 睡眠の介護④
- 25 レポート 睡眠の介護⑤
- 26 レポート 終末期の介護①
- 27 レポート 終末期の介護②
- 28 レポート 終末期の介護③
- 29 レポート 終末期の介護④
- 30 レポート 終末期の介護⑤

[使用テキスト・参考文献]

介護職員等実務者研修テキスト第2巻

[単位認定の方法及び基準]

(試験やレポートの評価基準など)

レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 介護過程 I		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 金野 主税
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①介護過程の基礎知識②介護過程の展開③介護過程とチームアプローチ</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護過程の目的、意義、展開等を理解している。 ○ 介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。 ○ チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、各職種の役割を理解している。 				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>介護過程の基礎的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 レポート 介護過程の意義と目的① 2 レポート 介護過程の意義と目的② 3 レポート 介護過程の意義と目的③ 4 レポート 介護過程の意義と目的④ 5 レポート 介護過程の意義と目的⑤ 6 レポート 介護過程の展開① 7 レポート 介護過程の展開② 8 レポート 介護過程の展開③ 9 レポート 介護過程の展開④ 10 レポート 介護過程の展開⑤ 11 レポート 介護過程の展開⑥ 12 レポート 介護過程の展開⑦ 13 レポート 介護過程の展開⑧ 14 レポート 介護過程の展開⑨ 15 レポート 介護過程の展開⑩ 16 レポート 介護過程とチームアプローチ① 				

17 レポート 介護過程とチームアプローチ② 18 レポート 介護過程とチームアプローチ③ 19 レポート 介護過程とチームアプローチ④ 20 レポート 介護過程とチームアプローチ⑤	
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第3巻	[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 介護過程Ⅱ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 小堀 悦子
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 25時間	配当学年・時期		必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>介護過程の展開の実際</p> <p>①利用者の状態（涉外、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等）について事例を設定し、介護過程を展開させる。</p> <p>②観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携等についても考察させる。</p> <p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>○ 情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。</p> <p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>介護過程の実践的展開</p> <p>1 レポート 事例①-1</p> <p>2 レポート 事例①-2</p> <p>3 レポート 事例①-3</p> <p>4 レポート 事例①-4</p> <p>5 レポート 事例①-5</p> <p>6 レポート 事例②-1</p> <p>7 レポート 事例②-2</p> <p>8 レポート 事例②-3</p> <p>9 レポート 事例②-4</p> <p>10 レポート 事例②-5</p> <p>11 レポート 事例③-1</p> <p>12 レポート 事例③-2</p> <p>13 レポート 事例③-3</p> <p>14 レポート 事例③-4</p>				

1 5 レポート 事例③-5 1 6 レポート 事例④-1 1 7 レポート 事例④-2 1 8 レポート 事例④-3 1 9 レポート 事例④-4 2 0 レポート 事例④-5 2 1 レポート 演習問題① 2 2 レポート 演習問題② 2 3 レポート 演習問題③ 2 4 レポート 演習問題④ 2 5 レポート 演習問題⑤	
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第3巻	[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 介護過程Ⅲ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 照井 由紀子 橘 英美子 西村 洋子	
授業の回数 スクーリング8回	時間数(単位数) 45時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
[授業の目的・ねらい] 他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。					
[授業全体の内容の概要] ①介護過程の展開の実際 ・多様な事例を設定し、介護過程を展開させるとともに、知識・技術を総合的に活用した分析力・応用力を評価する。 ②介護技術の評価 ・介護技術の原理原則の修得・実践とともに、知識・技術を総合的に活用した判断力、応用力を評価する。					
[授業修了時の達成課題（到達目標）] ○ 実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に修得し、活用できる。 ○ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。 ○ 介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ○ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。					
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 多問題にかかえる家族の理解とアプローチ 1 演習 事例検討①-1解説 2 演習 事例検討①-2個人ワーク 3 演習 事例検討①-3個人ワーク 4 演習 事例検討①-4答え合わせ 5 演習 事例発表①-5グループワーク 6 演習 事例発表①-6発表					

- 7 実技 事例検討①-1デモ
- 8 実技 事例検討①-2介護技術
- 9 実技 事例検討①-3介護技術
- 10実技 事例検討①-4介護技術
- 11実技 事例検討①-5介護技術
- 12実技 事例検討①-6介護技術
- 13演習 事例検討②-1解説
- 14演習 事例検討②-2個人ワーク
- 15演習 事例検討②-3個人ワーク
- 16演習 事例検討②-4答え合わせ
- 17演習 事例発表②-5グループワーク
- 18演習 事例発表②-6発表
- 19実技 事例発表②-1デモ
- 20実技 事例発表②-2介護技術
- 21実技 事例発表②-3介護技術
- 22実技 事例発表②-4介護技術
- 23実技 事例発表②-5介護技術
- 24実技 事例発表②-6介護技術
- 25演習 事例検討③-1解説
- 26演習 事例検討③-2個人ワーク
- 27演習 事例検討③-3個人ワーク
- 28演習 事例検討③-4答え合わせ
- 29演習 事例発表③-5グループワーク
- 30演習 事例検討③-6発表
- 31実技 事例発表③-1デモ
- 32実技 事例発表③-2介護技術
- 33実技 事例発表③-3介護技術
- 34実技 事例発表③-4介護技術
- 35実技 事例発表③-5介護技術
- 36実技 事例発表③-6介護技術
- 37演習 事例検討④-1解説
- 38演習 事例検討④-2個人ワーク
- 39演習 事例検討④-3個人ワーク
- 40演習 事例検討④-4答え合わせ
- 41演習 事例発表④-5グループワーク
- 42演習 事例発表④-6発表
- 43実技 事例発表④-1デモ
- 44実技 事例発表④-2介護技術

45実技 事例発表④-3介護技術	
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第3巻	[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) グループワーク、発表による評価 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 発達と老化の理解 I		授業の種類 (講義) ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 塩満 和子	
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 10時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①老化に伴う心の変化と日常生活への影響</p> <p>②老化に伴うからだの変化と日常生活への影響</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>○老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</p> <p>○老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。</p>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>老化にともなうところとからだの変化</p> <p>1 レポート こころの変化と日常生活への影響①</p> <p>2 レポート こころの変化と日常生活への影響②</p> <p>3 レポート こころの変化と日常生活への影響③</p> <p>4 レポート こころの変化と日常生活への影響④</p> <p>5 レポート こころの変化と日常生活への影響⑤</p> <p>6 レポート こころの変化と日常生活への影響⑥</p> <p>7 レポート からだの変化と日常生活への影響①</p> <p>8 レポート からだの変化と日常生活への影響②</p> <p>9 レポート からだの変化と日常生活への影響③</p> <p>10 レポート からだの変化と日常生活への影響④</p>					
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第4巻			[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) 小テスト 70点以上合格		

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 発達と老化の理解Ⅱ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 塩満 和子
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期		必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①人間の成長・発達 ②老年期の発達・成熟と心理 ③高齢者に多い症状・疾病等と留意点</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>○ 発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。 ○ 老年期の発達課題、心理的な課題 (老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等) と支援の留意点について理解している。 ○ 高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。</p>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>老年期の発達、成熟と健康</p> <p>1 レポート 人間の成長・発達① 2 レポート 人間の成長・発達② 3 レポート 人間の成長・発達③ 4 レポート 人間の成長・発達④ 5 レポート 人間の成長・発達⑤ 6 レポート 人間の成長・発達⑥ 7 レポート 人間の成長・発達⑦ 8 レポート 人間の成長・発達⑧ 9 レポート 人間の成長・発達⑨ 10 レポート 人間の成長・発達⑩ 11 レポート 老年期の発達課題① 12 レポート 老年期の発達課題② 13 レポート 老年期の発達課題③ 14 レポート 老年期の発達課題④ 15 レポート 老年期の発達課題⑤</p>				

- | | |
|--------|-------------------|
| 16レポート | 老年期の発達課題⑥ |
| 17レポート | 高齢者に多くみられる症状・疾病等① |
| 18レポート | 高齢者に多くみられる症状・疾病等② |
| 19レポート | 高齢者に多くみられる症状・疾病等③ |
| 20レポート | 高齢者に多くみられる症状・疾病等④ |

[使用テキスト・参考文献]	[単位認定の方法及び基準]
介護職員等実務者研修テキスト第4巻	(試験やレポートの評価基準など)
	レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 認知症の理解 I		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 北澤 敏子
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 10時間	配当学年・時期	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意志表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>① 認知症ケアの理念 ② 認知症による生活障害、心理・行動の特徴 ③ 認知症の人とのかかわり・支援の基本</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>○ 認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。 ○ 認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ○ 認知症の人やその家族に対する関わり方の基本を理解している。</p>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>認知症の基礎的理解</p> <p>1 レポート 認知症ケアの理念と視点① 2 レポート 認知症ケアの理念と視点② 3 レポート 認知症による生活障害、心理・行動の特徴① 4 レポート 認知症による生活障害、心理・行動の特徴② 5 レポート 認知症による生活障害、心理・行動の特徴③ 6 レポート 認知症による生活障害、心理・行動の特徴④ 7 レポート 認知症による生活障害、心理・行動の特徴⑤ 8 レポート 認知症による生活障害、心理・行動の特徴⑥ 9 レポート 認知症の人とのかかわり・支援の基本① 10 レポート 認知症の人とのかかわり・支援の基本②</p>				

<p>[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第4巻</p>	<p>[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格</p>
--	--

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 認知症の理解Ⅱ		授業の種類 (講義)・(演習)・実習)		授業担当者 北澤 敏子
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意志表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①医学的側面から見た認知症の理解 ②認知症の人や家族への支援の実際</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>○ 代表的な認知症 (若年性認知症を含む) の原因疾患、症状、涉外、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 ○ 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ○ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</p>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>認知症の医学的理解と実際の支援</p> <p>1 レポート 医学的側面からみた認知症の理解① 2 レポート 医学的側面からみた認知症の理解② 3 レポート 医学的側面からみた認知症の理解③ 4 レポート 医学的側面からみた認知症の理解④ 5 レポート 医学的側面からみた認知症の理解⑤ 6 レポート 医学的側面からみた認知症の理解⑥ 7 レポート 認知症の人や家族への支援の実際① 8 レポート 認知症の人や家族への支援の実際② 9 レポート 認知症の人や家族への支援の実際③ 10 レポート 認知症の人や家族への支援の実際④ 11 レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑤ 12 レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑥ 13 レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑦</p>				

14レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑧ 15レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑨ 16レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑩ 17レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑪ 18レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑫ 19レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑬ 20レポート 認知症の人や家族への支援の実際⑭	
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第4巻	[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 障害の理解 I		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 北澤 敏子	
授業の数 レポート1回	時間数(単位数) 10時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>① 障害者福祉の理念 ② 障害による生活障害、心理・行動の特徴 ③ 障害児者や家族へのかかわり・支援の基本</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>○ 障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。 ○ 障害 (身体・知的・精神・発達障害・難病等) による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ○ 障害児者やその家族に対する関わり・支援の基本を理解している。</p>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>障害の基礎的理解</p> <p>1 レポート 障害者福祉の理念① 2 レポート 障害者福祉の理念② 3 レポート 障害による生活障害、心理・行動の特徴① 4 レポート 障害による生活障害、心理・行動の特徴② 5 レポート 障害による生活障害、心理・行動の特徴③ 6 レポート 障害による生活障害、心理・行動の特徴④ 7 レポート 障害による生活障害、心理・行動の特徴⑤ 8 レポート 障害による生活障害、心理・行動の特徴⑥ 9 レポート 障害者・児や家族へのかかわり・支援の基本① 10 レポート 障害者・児や家族へのかかわり・支援の基本②</p>					

<p>[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第4巻</p>	<p>[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格</p>
--	--

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 障害の理解Ⅱ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 鶴岡 典江
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期		必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①医学的側面からみた障害の理解 ②障害児者への支援の実際</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>○ 様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う昨日の変化等についての医学的知識を修得している。 ○ 障害児者の障害、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ○ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。</p>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>障害の医学的理解と支援の実際</p> <p>1 レポート 医学的側面からみた障害の理解① 2 レポート 医学的側面からみた障害の理解② 3 レポート 医学的側面からみた障害の理解③ 4 レポート 医学的側面からみた障害の理解④ 5 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑤ 6 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑥ 7 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑦ 8 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑧ 9 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑨ 10 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑩ 11 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑪ 12 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑫ 13 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑬ 14 レポート 医学的側面からみた障害の理解⑭</p>				

15レポート 障害者・児への支援の実際① 16レポート 障害者・児への支援の実際② 17レポート 障害者・児への支援の実際③ 18レポート 障害者・児への支援の実際④ 19レポート 障害者・児への支援の実際⑤ 20レポート 障害者・児への支援の実際⑥	
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第4巻	[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) こころとからだのしくみ I		授業の種類 (講義) ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 塩満 和子
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 20時間	配当学年・時期	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔等）</p> <p>[授業修了時の達成課題（到達目標）]</p> <p>○ 介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を修得している。</p>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>介護に関連するからだのしくみ</p> <p>1 レポート 移動・移乗に関連するからだのしくみ①</p> <p>2 レポート 移動・移乗に関連するからだのしくみ②</p> <p>3 レポート 移動・移乗に関連するからだのしくみ③</p> <p>4 レポート 移動・移乗に関連するからだのしくみ④</p> <p>5 レポート 食事に関連するからだのしくみ①</p> <p>6 レポート 食事に関連するからだのしくみ②</p> <p>7 レポート 食事に関連するからだのしくみ③</p> <p>8 レポート 食事に関連するからだのしくみ④</p> <p>9 レポート 入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ①</p> <p>10 レポート 入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ②</p> <p>11 レポート 入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ③</p> <p>12 レポート 入浴・清潔保持に関連するからだのしくみ④</p> <p>13 レポート 排泄に関連するからだのしくみ①</p> <p>14 レポート 排泄に関連するからだのしくみ②</p> <p>15 レポート 排泄に関連するからだのしくみ③</p> <p>16 レポート 排泄に関連するからだのしくみ④</p> <p>17 レポート 着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ①</p> <p>18 レポート 着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ②</p>				

19レポート 着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ③ 20レポート 着脱、整容、口腔清潔に関連するからだのしくみ④	
[使用テキスト・参考文献] 介護職員等実務者研修テキスト第4巻	[単位認定の方法及び基準] (試験やレポートの評価基準など) レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) こころとからだのしくみⅡ		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 照井 由紀子	
授業の回数 レポート1回	時間数(単位数) 60時間	配当学年・時期		必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>介護技術の根拠となる人体の構造や機能及び介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①人間の心理</p> <p>②人体の構造と機能</p> <p>③身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗 ・食事 ・入浴・清潔保持 ・排泄 ・着脱、整容、口腔清潔 ・睡眠 <p>終末期の介護</p> <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を修得している。 ○生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を修得している。 ○身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、アセスメント、観察、介護、他職種との連携が行える。 					

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]

コマ数

心身の構造・機能と介護における観察のポイント

- 1 レポート 人間の心理①
- 2 レポート 人間の心理②
- 3 レポート 人間の心理③
- 4 レポート 人間の心理④
- 5 レポート 人間の心理⑤
- 6 レポート 人間の心理⑥
- 7 レポート 人間の心理⑦
- 8 レポート 人体の構造と機能①
- 9 レポート 人体の構造と機能②
- 10 レポート 人体の構造と機能③
- 11 レポート 人体の構造と機能④
- 12 レポート 人体の構造と機能⑤
- 13 レポート 人体の構造と機能⑥
- 14 レポート 人体の構造と機能⑦
- 15 レポート 移動・移乗における観察のポイント①
- 16 レポート 移動・移乗における観察のポイント②
- 17 レポート 移動・移乗における観察のポイント③
- 18 レポート 移動・移乗における観察のポイント④
- 19 レポート 移動・移乗における観察のポイント⑤
- 20 レポート 移動・移乗における観察のポイント⑥
- 21 レポート 移動・移乗における観察のポイント⑦
- 22 レポート 食事における観察のポイント①
- 23 レポート 食事における観察のポイント②
- 24 レポート 食事における観察のポイント③
- 25 レポート 食事における観察のポイント④
- 26 レポート 食事における観察のポイント⑤
- 27 レポート 食事における観察のポイント⑥
- 28 レポート 食事における観察のポイント⑦
- 29 レポート 入浴・清潔保持における観察のポイント①
- 30 レポート 入浴・清潔保持における観察のポイント②
- 31 レポート 入浴・清潔保持における観察のポイント③
- 32 レポート 入浴・清潔保持における観察のポイント④
- 33 レポート 入浴・清潔保持における観察のポイント⑤
- 34 レポート 入浴・清潔保持における観察のポイント⑥
- 35 レポート 入浴・清潔保持における観察のポイント⑦

- 36レポート 排泄における観察のポイント①
- 37レポート 排泄における観察のポイント②
- 38レポート 排泄における観察のポイント③
- 39レポート 排泄における観察のポイント④
- 40レポート 排泄における観察のポイント⑤
- 41レポート 排泄における観察のポイント⑥
- 42レポート 排泄における観察のポイント⑦
- 43レポート 着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント①
- 44レポート 着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント②
- 45レポート 着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント③
- 46レポート 着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント④
- 47レポート 着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント⑤
- 48レポート 着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント⑥
- 49レポート 着脱、整容、口腔清潔における観察のポイント⑦
- 50レポート 睡眠における観察のポイント①
- 51レポート 睡眠における観察のポイント②
- 52レポート 睡眠における観察のポイント③
- 53レポート 睡眠における観察のポイント④
- 54レポート 睡眠における観察のポイント⑤
- 55レポート 睡眠における観察のポイント⑥
- 56レポート 睡眠における観察のポイント⑦
- 57レポート 終末期における観察のポイント①
- 58レポート 終末期における観察のポイント②
- 59レポート 終末期における観察のポイント③
- 60レポート 終末期における観察のポイント④

[使用テキスト・参考文献]

介護職員等実務者研修テキスト第4巻

[単位認定の方法及び基準]

(試験やレポートの評価基準など)

レポート課題 70点以上合格

【様式例】

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 医療的ケア		授業の種類 (講義・演習・実習)		授業担当者 北澤 敏子
授業の回数 レポート3回 スクーリング2回	時間数(単位数) 60時間 (講義50時間、演習10時間)	配当学年・時期	必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。</p> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>①医療的ケア実施の基礎②喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)③経管栄養(基礎的知識・実施手順)④演習</p> <p>[授業修了時の達成課題(到達目標)]</p> <p>○ 医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を修得する。</p> <p>① 喀痰吸引 口腔 鼻腔 気管カニューレ内部 1人つき各5回以上</p> <p>② 経管栄養 胃ろう又は腸ろう 経鼻経管栄養 1人につき各5回以上</p> <p>③ 救急蘇生法 1人つき1回以上</p>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>医療的ケア実施の基礎</p> <p>1 レポート 医療的ケア①</p> <p>2 レポート 医療的ケア②</p> <p>3 レポート 医療的ケア③</p> <p>4 レポート 医療的ケア④</p> <p>5 レポート 安全な療養生活①</p> <p>6 レポート 安全な療養生活②</p> <p>7 レポート 安全な療養生活③</p> <p>8 レポート 安全な療養生活④</p> <p>9 レポート 清潔保持と感染予防①</p> <p>10 レポート 清潔保持と感染予防②</p> <p>11 レポート 清潔保持と感染予防③</p> <p>12 レポート 清潔保持と感染予防④</p> <p>13 レポート 健康状態の把握①</p> <p>14 レポート 健康状態の把握②</p> <p>15 レポート 健康状態の把握③</p>				

- 1 6 レポート 喀痰吸引①
- 1 7 レポート 喀痰吸引②
- 1 8 レポート 喀痰吸引③
- 1 9 レポート 喀痰吸引④
- 2 0 レポート 喀痰吸引⑤
- 2 1 レポート 喀痰吸引⑥
- 2 2 レポート 喀痰吸引⑦
- 2 3 レポート 喀痰吸引⑧
- 2 4 レポート 喀痰吸引⑨
- 2 5 レポート 喀痰吸引⑩
- 2 6 レポート 喀痰吸引⑪
- 2 7 レポート 喀痰吸引⑫
- 2 8 レポート 喀痰吸引⑬
- 2 9 レポート 喀痰吸引⑭
- 3 0 レポート 喀痰吸引⑮
- 3 1 レポート 喀痰吸引⑯
- 3 2 レポート 経管栄養①
- 3 3 レポート 経管栄養②
- 3 4 レポート 経管栄養③
- 3 5 レポート 経管栄養④
- 3 6 レポート 経管栄養⑤
- 3 7 レポート 経管栄養⑥
- 3 8 レポート 経管栄養⑦
- 3 9 レポート 経管栄養⑧
- 4 0 レポート 経管栄養⑨
- 4 1 レポート 経管栄養⑩
- 4 2 レポート 経管栄養⑪
- 4 3 レポート 経管栄養⑫
- 4 4 レポート 経管栄養⑬
- 4 5 レポート 経管栄養⑭
- 4 6 レポート 経管栄養⑮
- 4 7 レポート 経管栄養⑯
- 4 8 講義 喀痰吸引実施手順
- 4 9 講義 経管栄養実施手順
- 5 0 演習 喀痰吸引①
- 5 1 演習 喀痰吸引②
- 5 2 演習 喀痰吸引③
- 5 3 演習 喀痰吸引④

- 5 4 演習 喀痰吸引⑤
- 5 5 演習 喀痰吸引⑥
- 5 6 演習 経管栄養①
- 5 7 演習 経管栄養②
- 5 8 演習 経管栄養③
- 5 9 演習 救急蘇生法①
- 6 0 演習 救急蘇生法②

[使用テキスト・参考文献]

介護職員等実務者研修テキスト第5巻

[単位認定の方法及び基準]

(試験やレポートの評価基準など)

レポート課題 70点以上合格

演習評価5回目までにすべての項目ができる